

14-B-1) 貴学における実習報告会（成果発表会）についてお伺いいたします。6年制課程で実務実習を履修した学生が原則参加となる実習報告会の有無についてご回答下さい。

有り 無し

14-B-2) 設問 14-B-1)で「有り」と回答された方にお伺いいたします。下記の各項目について該当する選択肢を選択して下さい。該当する項目が複数ある場合は、該当する全てを選択して下さい。

①学生の成果発表方法

ポスターの掲示 スライドを用いた口頭発表 その他

②実習報告会参加者

実習生 実習先の指導薬剤師 実務家教員 非実務家教員 6年制課程学生*)
 4年制課程学生 その他

*)6年制課程学生とは、「報告会の対象となる期の実務実習を履修していない学生」とご解釈下さい。

③実習報告会の日程について

・日程

平日 土曜日 日曜・祝日

・開始時間

9:00～12:00 12:00～17:00 17:00～19:00 19:00以降 その他の時間

④実習報告会の長さ

1時間未満 1～3時間 3時間以上

⑤その他、貴学の実習報告会に特徴的な点があれば、ご回答下さい。

14-B-3) 実習報告会の参加者の感想について、代表的なものを5件程度を目処にご回答下さい。回答の際は、例に従い、参加者の属性を明記して下さい（5件程度以上をご回答頂いても結構です）。

例：（実習生）実務実習の復習と総まとめの良い機会となった、（指導薬剤師）指導した実習生の理解度や成長を確認出来てよかった、など

14-B-4) 報告会の発表内容には個人情報（患者氏名等の他、臨床検査値や処方内容も含む）が含まれるものがあるか否かについてご回答下さい。

有り 無し

14-B-5) 設問 14-B-4)で「有り」と回答された方にお伺いいたします。個人情報を用いることに対する倫理的な配慮について最も近い選択肢を選択して下さい。

a) 学内あるいはそれに準じる機関の倫理委員会の承認を受けている

b) 倫理委員会には諮っていないが、氏名など個人特定に至る可能性の高い情報は伏せている

c) その他（具体的にご回答下さい）

設問 15	<p>15-A) 設問 14 に関連して、実習生の SBOs 評価と指導薬剤師の SBOs 評価の整合性について下記選択肢 a)～d)より最も近いものを選択して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>a) ほぼ一致していた</p> <p><input type="checkbox"/>b) 一部評価が一致しない項目があった</p> <p><input type="checkbox"/>c) 大部分の項目で一致していなかった</p> <p><input type="checkbox"/>d) 不明・その他（具体的にご記載ください）</p> <p>15-B) 一致しなかったケースがあった場合、どの項目で一致しないことが多かったか、可能な範囲で該当する SBO 番号（あるいは LS 番号）も併せてご回答下さい。</p>
設問 16	<p>設問 14、15 に関連して、実習生の評価を行う上で困った点、改善が必要と思われる点があれば具体的にご回答下さい。</p>
設問 17	<p>17-A) 貴学における平成 23 年度の実務実習生の割り付け方法について、下記選択肢 a)～d)より該当するものを選択して下さい。複数該当する場合は該当する選択肢を全て選択して下さい。</p> <p>【病院の割り付け方法】</p> <p><input type="checkbox"/>a) 実習調整機構を経由 <input type="checkbox"/>b) 実習調整機構を経由せず、大学と個別に調整</p> <p><input type="checkbox"/>c) a)と b)の両方 <input type="checkbox"/>d) その他</p> <p>【薬局の割り付け方法】</p> <p><input type="checkbox"/>a) 実習調整機構を経由 <input type="checkbox"/>b) 実習調整機構を経由せず、大学と個別に調整</p> <p><input type="checkbox"/>c) a)と b)の両方 <input type="checkbox"/>d) その他</p> <p>17-B) 貴学における実習で用いた割付方法について便利な点、不便な点があれば具体的にご回答下さい。</p> <p>17-C) 17-A) に挙げた a)～c)以外の方法で、より望ましいと考えられる実習生の割付方法があればご意見をお聞かせ下さい。 例：実習内容を事前に公表し、実習生にある程度の選択の自由がある状態にする</p>

設問 18

事前学習を効果的に行う上では、事前学習の担当教員が現実の臨床を熟知していることが望ましいと考えられます。また、一方で実習施設の指導薬剤師が実習生に実習指導を行うためには教育現場を体験することも有用であるとの意見もあります。現在、大学と実習施設の間では、例えば定期的な教員訪問、実習生の実習成果発表会への指導薬剤師の参加、といった形で連携が図られていることが多くなっています。

そこで、貴学における実習施設との連携状況についてお伺いいたします。

18-A) 貴学で行われている実習施設との連携について、下記選択肢 a)～c)より該当するものを選択して下さい。複数該当する場合は該当する選択肢を全て選択して下さい。

- a) 担当教員の実習施設訪問（概ね3回程度）
- b) 指導薬剤師の実習成果発表会への参加
- c) その他（具体的にご回答下さい。）

18-B) また、海外では大学教員自身が臨床現場での薬剤業務を定期的に行う、あるいは薬局薬剤師と大学教員が共同で実習生の課題研究の指導を行う、といった人材交流が行われている例もあります。今後我が国においてもこのような人材交流は望ましいと思われますか？

- a) 望ましいと思う
- b) どちらかと言えば望ましいと思う
- c) どちらかと言えば望ましくないと思う
- d) 望ましくないとおもう

18-C) 実習施設と大学の（人材）交流について、何かご意見があれば具体的にご回答下さい。

以上、大変お忙しい中ご協力頂き、誠にありがとうございました。

添付資料2
病院向けアンケート調査票

「薬剤師教育における実務実習指導薬剤師及び実務家教員に関する実態把握」

アンケート調査票（病院用）

回答者*)：病院名 _____ 所属 _____

氏名 _____ 連絡先 _____

*)：本研究の成果発表時には一切公表いたしません。空欄でも結構です。

設問 1	貴院の総病床数をご回答下さい。		床
設問 2	1) 貴院の薬剤部所属の薬剤師数をご回答下さい。 2) その中で以下の認定取得者数をご回答下さい。 A) 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 B) 日本病院薬剤師会認定指導薬剤師	1) 2-A) 2-B)	名 名 名
設問 3	貴院の平成 23 年度実務実習における実習生の受入人数をご回答下さい。	I 期 II 期 III 期	名 名 名
設問 4	4-A-1) 貴院において平成 21 年度以前（6 年制課程の実務実習実施以前）に薬学部学生・大学院生を実習生として受け入れていた経験はありでしょうか。 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 不明 ※実習生受入とは、連続1週間以上の受入とご解釈下さい。また、研究室配属の学生は対象外として下さい。 4-A-2) 前問で「ある」と回答された場合は実習期間と受け入れ人数をご記載ください。 例：2 週間実習を年間5 名程度、など 4-B-1) 貴院において平成 23 年度までに卒後研修生（旧 4 年制課程卒業者）を受け入れていた経験はありでしょうか。 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 不明 ※卒後研修生受け入れとは、連続2ヶ月以上の受け入れとご解釈ください。 4-B-2) 前問で「ある」と回答された場合は実習期間と受け入れ人数をご記載ください。 例：6 ヶ月研修を年間10 名程度、など		
設問 5	5-A) 差し障り無ければ、貴院に大学から支払われる実習費（1 日単位での支払いの場合は実習期間全体に換算してください）の内訳をご回答ください。大学により実習費が異なる場合は回答欄 2 段目以降をご利用ください。不明の場合は最下段の「不明」のチェックボックスをチェックして下さい。 ① 万円が 名 ② 万円が 名 ③ 万円が 名 ④ 万円が 名 <input type="checkbox"/> 不明 5-B) 貴院における実習費の主な使用用途を箇条書きにてご回答ください。 例：人件費、書籍購入費、パソコン購入費、など 5-C) 共通経費等として、直接薬剤部が使用することが出来ない部分がある場合には、その割合を概算で結構ですのご回答ください。 5-D) 上記 5-B)にてご回答頂いた支出は実習費で賄うことが可能でしょうか。 <input type="checkbox"/> 十分な額面である <input type="checkbox"/> 実習費の支出とほぼ釣り合っている <input type="checkbox"/> 不足している <input type="checkbox"/> 不明・該当せず		

設問 6 :

今後、薬剤師はチーム医療の中でどのような役割を担うべきか、アンケート回答者のお考えをご回答下さい(設問 6-A)。また、そのような役割を果たすために必要となる能力・知識についてもご回答下さい(設問 6-B)。

なお、回答の負担を軽減する目的で、昨年度までの調査で比較的多く見受けられた回答内容を選択肢に設定させて頂きましたが、その他にも必要と考える項目があれば自由記載欄にご記載ください。

(本設問は、実務実習を含めた薬剤師教育のあり方を考える上で、目標となる薬剤師の理想像に関して考察することを目的としております。)

6-A) 薬剤師が関与すべき役割・業務内容に関する設問となります。下記選択肢 a)~e)より回答者のご意見に最も近いものを選択してください。

- a) 主たる実施者として関与すべきであり、現在も大きく関与している
- b) 主たる実施者として関与すべきであるが、現在はあまり関与していない
- c) 現在、主たる実施者として大きく関与しているが、関与の必要性について検討すべきである
- d) 現在、主たる実施者としてあまり関与しておらず、積極的に関与すべき役割では無いと考える
- e) その他 (具体的なご意見を回答欄に御記載ください)

関与すべき役割・業務内容	a)	b)	c)	d)	e)	e) の具体的内容
1. 計数・計量調剤						
1-a) 処方監査・疑義照会						
1-b) 薬剤の取り揃え、秤量・分包など						
1-c) 調剤薬鑑査 (最終鑑査)						
1-d) 外来患者への服薬指導						
2. 注射薬調剤・IVH (TPN) 調製						
2-a) 処方監査						
2-b) 薬剤の取り揃え						
2-c) 調剤薬鑑査 (最終鑑査)						
2-d) 中心静脈栄養の混合・調製						
3. 安全対策 (リスクマネジメント)						
4. 医薬品管理・供給 (払出し、発注、検収含む)						
5. 医薬品情報の収集・評価・加工・提供・管理						
6. 病棟における業務						
6-a) 薬剤管理指導						
6-b) 各種チーム (感染対策、栄養管理、緩和など) への参画						
6-c) 処方設計への関与						
6-d) 入院患者の持参薬管理						
7. 院内製剤 (一般製剤、無菌製剤)						
8. TDM (中毒薬物スクリーニング含む)						
9. 医療従事者を対象とする薬剤に関する院内セミナー等の企画						
10. 患者に対する集団教育 (糖尿病教室など) の実施						
11. 採用医薬品決定への関与						
12. 後発医薬品の使用促進への関与						
13. がん化学療法への関与 (レジメン選定など)						
14. 麻薬管理						
15. 治験・臨床研究への関与						

6-A) 自由記載欄

6-B) 設問 6-A)でご回答頂いた役割を担うために必要となる能力・知識に関する設問となります。下記選択肢 a)～e)より回答者のご意見に最も近いものを選択してください。

- a) 今後も必要な能力・知識であり、現時点で多くの薬剤師が十分な能力・知識を有している
- b) 今後、必要な能力・知識であるが、現時点では十分な能力・知識を有する薬剤師は少ない
- c) 多くの薬剤師が十分な能力・知識を有しているが、今後の薬剤師にとっての必要性は低いと思われる
- d) 十分な能力・知識を有する薬剤師は少ないが、今後の薬剤師にとっての必要性も低いと思われる
- e) その他（具体的なご意見を回答欄に御記載ください）

必要となる能力・知識	a)	b)	c)	d)	e)	e) の具体的内容
1. 薬剤に関する知識	/	/	/	/	/	
1-a) 作用機序						
1-b) 適応疾患・用法・用量・禁忌						
1-c) 副作用情報						
1-d) 相互作用・配合変化						
1-e) 同種同効薬、後発品						
1-f) 一般薬、健康食品、サプリメント						
2. 疾患の診断や治療に関する知識	/	/	/	/	/	
2-a) 疾患のメカニズム						
2-b) 標準的な診断・治療（ガイドライン）						
3. 基礎科学（有機化学、分析化学、物理化学、生化学など）						
4. 基礎医学（生理学、解剖学、病理学など）						
5. 薬理学、薬物動態学、薬剤学						
6. 臨床統計学・疫学						
7. 薬事関連法規、医療法など関連法規						
8. 診療報酬など保健医療に関する知識						
9. 情報収集能力・論文読解能力（英語力も含む）						
10. 研究立案・遂行能力						
11. コミュニケーション能力・人間性						
12. 医療従事者としての心構え・倫理観・責任感						
13. 他の医療従事者の業務内容に関する理解						

6-B) 自由記載欄

以下の設問 7～19 は、現時点における長期実務実習の実態把握を目的としております。特に設問中に記載が無い場合は平成 23 年度の実務実習を対象としてご回答ください。

設問 7：

実務実習事前学習に関してお伺いいたします。

7-A) 次ページ以降の表には文部科学省ホームページに示されている“薬学実習モデル・コアカリキュラム”中の実務実習事前学習方略をお示ししております*)。本方略は事前学習の到達目標を示したものであり、大学においては CBT や OSCE によりその到達度が試験されておりますが、実習受入施設の指導者の実感についてはほとんど調査が行われておりません。

そのため、そのようなデータを収集するため、貴院において受け入れた実習生の事前学習の進捗状況についてご回答をお願いいたします。下記選択肢より回答者の実感に近いものを選択して下さい。なお、大学による達成度の差がある場合は該当する選択肢全てを選択して下さい。また、項目により指導者が異なる場合も多いと思われませんが、そのようなケースでは複数の回答者でご対応頂いても結構です。

- a) 事前学習で習得すべき内容であり、ほとんどの実習生が習得している
- b) 事前学習で習得すべき内容であるが、習得が不十分な実習生もいる
- c) 事前学習で習得すべき内容であるが、ほとんどの実習生が習得していない
- d) 実務実習方略に含まれない内容のため、習得状況は不明
- e) 事前学習で習得すべき（可能な）内容であるか疑問である
- f) その他（具体的に記載をお願いします。）

7-B) 設問 7-A) に示した実務実習事前学習方略には含まれないが事前学習（あるいは事前学習以前の教育課程）で実習生が習得することが強く期待される項目があれば自由記載欄に御記載ください。

*) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/022/toushin/04052401/002/001.htm

実務実習モデル・コアカリキュラム－実務実習事前学習方略の学習内容

(1) 事前学習を始めるにあたって

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《薬剤師業務に注目する》								
S101	◎医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。							
S102	◎医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。							
S103	◎薬剤師が行う業務が患者本位のファーマシューティカルケアの概念にそったものであることについて討議する。							
《チーム医療に注目する》								
S104	◎医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。							
S105	◎チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。							
S106	◎自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。(態度)							
《医薬分業に注目する》								
S107	◎医薬分業の仕組みと意義を概説できる。							

(2) 処方せんと調剤

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《処方せんの基礎》								
S201	◎処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。							
	◎処方オーダーリングシステムを概説できる。							
S202	◎処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。							
S203	◎調剤を法的根拠に基づいて説明できる。							
	◎代表的な処方せん例の鑑査における注意点を説明できる。(技能)							
S204	◎不適切な処方せんの処置について説明できる。							
《医薬品の用法・用量》								
S205	◎代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。							
S206	◎患者に適した剤形を選択できる。(知識・技能)							
S207	◎患者の特性(新生児、小児、高齢者、妊婦など)に適した用法・用量について説明できる。							
	◎患者の特性に適した用量を計算できる。(技能)							
S208	◎病態(腎、肝疾患など)に適した用量設定について説明できる。							
《服薬指導の基礎》								
S209	◎服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。							
《調剤室業務入門》								
S210	◎代表的な処方せん例の鑑査をシミュレートできる。(技能)							
	◎処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。(技能)							
	◎処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。(技能)							
	◎調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。(技能)							
S211	◎処方せんの鑑査の意義とその必要性について討議する。(態度)							

(3) 疑義照会

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《疑義照会の意義と根拠》								
S301	◎疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。							
S302	◎代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる。							
	◎特定の配合によって生じる医薬品の性状、外観の変化を観察する。(技能)							
S303	◎不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。							
《疑義照会入門》								
S304	◎処方せんの問題点を解決するための薬剤師と医師の連携の重要性を討議する。							
S305	◎代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。							
	◎代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。							
	◎代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。							
	◎疑義照会の流れを説明できる。							
S306	◎代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。							
	◎代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。							
	◎代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。							
	◎疑義照会をシミュレートする。(技能・態度)							

(4) 医薬品の管理と供給

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《医薬品の安定性に注目する》								
S401	◎医薬品管理の意義と必要性について説明できる。							
S402	◎代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。							
《特別な配慮を要する医薬品》								
S403	◎毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。							
	◎麻薬、向精神薬などの管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。							
S404	◎血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。							
	◎輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。							
S405	◎代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。							
	◎生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。							
S406	◎毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。							
	◎血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。							
	◎輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。							
	◎代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。							
	◎生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。							
S407	◎麻薬の取扱いをシミュレートできる。(技能)							
	◎代表的な放射性医薬品の種類と用途を説明できる。							
S407	◎放射性医薬品の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。							
《製剤化の基礎》								
S408	◎院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。							
S409	◎薬局製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。							

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
S410	◎代表的な院内製剤を調製できる。(技能)							
S411	◎無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能)							
	◎抗悪性腫瘍剤などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能)							
《注射剤と輸液》								
S412	◎注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。							
	◎代表的な配合変化を検出できる。(技能)							
S413	◎代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。							
	◎体内電解質の過不足を判断して補正できる。(技能)							
《消毒薬》								
S414	◎代表的な消毒薬の用途、使用濃度を説明できる。							
	◎消毒薬調製時の注意点を説明できる。							

(5) リスクマネジメント

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《安全管理に注目する》								
S501	◎薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。							
S502	◎誤りを生じやすい投薬例を列挙できる。							
S503	◎院内感染の回避方法について説明できる。							
《副作用に注目する》								
S504	◎代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。							
S505	◎代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。							
《リスクマネジメント入門》								
S506	◎誤りを生じやすい調剤例を列挙できる。							
	◎リスクを回避するための具体策を提案する。(態度)							
S507	◎事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)							

(6) 服薬指導と患者情報

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《服薬指導に必要な技能と態度》								
S601	◎患者の基本的権利、自己決定権、インフォームドコンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。							
S602	◎代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。							
	◎代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。							
S603	◎インフォームドコンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)							
	◎適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)							
	◎医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)							
S604	◎患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。							

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
《患者情報の重要性に注目する》								
S605	◎服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。							
	◎患者背景、情報（コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など）を把握できる。（技能）							
	◎医師、看護師などとの情報の共有化の重要性を説明できる。							
	◎患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。							
《服薬指導入門》								
S606	◎代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。（知識・技能）							
	◎共感的態度で患者インタビューを行う。（技能・態度）							
	◎患者背景に配慮した服薬指導ができる。（技能）							
	◎代表的な症例についての服薬指導の内容を適切に記録できる。（技能）							

(7) 事前学習のまとめ

LS	到達目標 (SBOs)	a)	b)	c)	d)	e)	f)	f) の具体的内容
S701	◎代表的な処方せん例の鑑査を行うことができる。（技能）							
	◎疑義照会をシミュレートする。（技能・態度）							
	◎処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。（技能）							
	◎処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。（技能）							
	◎調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。（技能）							
	◎患者背景に配慮した服薬指導ができる。（技能）							

設問 7 自由記載欄：実務実習事前学習方略で不足している項目

設問 10 :

次ページ以降の表には文部科学省ホームページに示されている“薬学実習モデル・コアカリキュラム”中の病院実習方略をお示ししておりますが^{*}、現時点において、実際にどの程度、病院実習方略に沿った形で実務実習が行われているかは十分なデータが集積されておられません。また、カリキュラム内容に関する実習施設の意見を広く集積・解析したデータも非常に限られております。そこで、貴院において行われた病院実務実習において、病院実習方略に示された実習内容がどの程度実施可能であったか、ご回答をお願いいたします。

^{*} http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/022/toushin/04052401/002/002.htm

10-A) 各 SBOs のカリキュラム上の扱いとして、下記選択肢 a)~e)より回答者のご意見に最も近いものを選択して下さい。

- a) 病院実務実習において習得すべき内容であり、全ての施設で行われるべきである。
- b) 病院実務実習において習得すべき内容ではあるが、施設の状況に合わせて実施は判断する、あるいは他施設に依頼するなどを検討すべきである。
- c) 事前学習までに習得しておいて欲しい内容である。
- d) 主として卒後実習で習得すべき内容と考える。
- e) その他（具体的に回答欄にご記載ください）

10-B) 各 SBOs の貴院における実施状況について、下記選択肢 a)~e)より最も近いものを選択してください。なお、実習生により状況が異なる場合は平均的な進捗をご回答下さい。また、項目により指導者が異なる場合も多いと思われませんが、そのようなケースでは複数の回答者でご対応頂いても結構です。

- a) 自施設において十分に実施できた。（時間の延長も含む）
- b) 自施設において実施したが、業務の現状などに合せて、適宜内容・時間を縮小した。
- c) 自施設において実施が困難なため、他施設に依頼して実施した。
- d) 当該内容については実施していない。
- e) その他（具体的に回答欄にご記載ください）

10-C) 貴院において独自に実施している実習内容があれば、下の自由記載欄に御記載ください。

例：医学部の卒前実習と合同の実習を行いチーム医療への理解を深めている、検査部の協力を得て各種臨床検査の具体的な検査手法に対する理解を促している等

--

LS	到達目標 (SBOs)	学習方法	時間	備考	設問 10-A						設問 10-B					
					a)	b)	c)	d)	e)	内容	a)	b)	c)	d)	e)	内容
H127	◎医薬品に関わる過失あるいは過誤について、適切な対処法を討議する。(態度)	SGD	90×2													
	◎インシデント、アクシデント報告の実例や、現場での体験をもとに、リスクマネジメントについて討議する。(態度)															
	◎職務上の過失、過誤を未然に防ぐための方策を提案できる。(態度)															
	◎実習中に生じた諸問題(調剤ミス、過誤、事故、クレームなど)を、当該機関で用いられるフォーマットに正しく記入できる。(技能)															

(2) 医薬品を動かす・確保する

LS	到達目標 (SBOs)	学習方法	時間	備考	設問 10-A						設問 10-B					
					a)	b)	c)	d)	e)	内容	a)	b)	c)	d)	e)	内容
《医薬品の管理・供給・保存》																
H201	◎医薬品管理の流れを概説できる。	説明・見学	90×2													
	◎医薬品の適正在庫の意義を説明できる。															
	◎納品から使用までの医薬品の動きに係わる人達の仕事を見学し、薬剤師業務と関連づけて説明できる。															
H202	◎医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を説明できる。	説明・実習	90×2													
H203	◎納入医薬品の検収を体験し、そのチェック項目を列挙できる。	説明・演習	90×3													
	◎同一商品名の医薬品に異なった規格があるものについて具体例を列挙できる。															
H204	◎院内における医薬品の供給方法について説明できる。	説明・実習	90×3													
	◎請求のあった医薬品を取り揃えることができる。(技能)															
《特別な配慮を要する医薬品》																
H205	◎麻薬・向精神薬および覚せい剤原料の取扱いを体験する。(技能)	説明・実習	90×3													
	◎毒薬、劇薬を適切に取り扱うことができる。(技能)															
	◎血漿分画製剤の取扱いを体験する。(技能)															
	◎法的な管理が義務付けられている医薬品(麻薬、向精神薬、劇薬、毒薬、特定生物由来製剤など)を挙げ、その保管方法を見学し、その意義について考察する。(態度)															
《医薬品の採用・使用中止》																
H206	◎医薬品の採用と使用中止の手続きを説明できる。	説明・実習	90×1													
	◎代表的な同種・同効薬を列挙できる。															

